

## Case 29-2014: A 60-Year-Old Woman with Syncope

【ID】 60 歳女性

【主訴】 失神後

【現病歴】

生来健康であったが、初発の失神を主訴に救急搬送された 60 歳女性。救急搬送された日の朝、左腓腹部が痙攣したが、すぐに消失したという。その後、夫と歩いている途中で突然のめまい、呼吸困難を自覚した。安静により呼吸困難は速やかに改善したため再び歩き出そうとしたところ、意識消失したため、夫が横に寝かせた。意識はすぐに回復したが、夫が救急要請した。救急隊到着時 SpO<sub>2</sub> 71%、酸素吸入により 99%へ上昇した。救急車にて当院救急外来を受診。

※陰性症状：呼吸困難、胸痛、めまい、腹痛、嘔気嘔吐、下痢

【既往歴】 なし

【家族歴】 父：脳卒中のため他界（58 歳）、母：高血圧、心房細動、心不全。突然死の家族例なし

【服薬歴】 なし

【アレルギー】 なし

【生活歴】 夫と 2 人暮らし、元 health care worker、喫煙(-)、飲酒(-)、違法薬物(-)

【バイタル】 appearance good, JCS-0, BP 121/81mmHg, HR 77, RR 24, SpO<sub>2</sub> 98%(O<sub>2</sub> 6L), BT n.p.

【身体所見】 104.6kg と高度肥満。その他異常なし

【検査所見】

[ECG] sinus, 不完全右脚ブロック、陰性 T 波、ST 低下は<1mm

[血算] Hb→, WBC→, Plt  $12 \times 10^4$

[生化学] HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 20.9mmol↓, その他電解質異常なし、D-dimer 10000 !!, Troponin T(-), BNP→, Cre→, AG→, glucose→

[凝固] n.p.

以上の情報に基づいて、この患者に対し診断的検査が行われた。

### Question

どんなプロブレムがありますか？

他にどんな検査をしますか？（～を疑って～の検査をする）

鑑別診断は？絶対に除外すべき診断は？